2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月12日

上 場 会 社 名　株式会社エンビプロ・ホールディングス　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　5698　URL https://www.envipro.jp/
代　　表　　者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 佐野　文勝
問合せ先責任者　(役職名) 取締役　管理管掌　(氏名) 竹川　直希　(TEL) 0544-21-3160
配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：無

(百万円未満切捨て)

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	11,265	12.8	827	96.0	994	125.6	697	131.3
2026年６月期第１四半期	9,991	△18.5	422	―	440	952.5	301	780.0

(注) 包括利益　2027年６月期第１四半期　693百万円(119.9%)　2026年６月期第１四半期　315百万円(　―%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	24.46	23.56
2026年６月期第１四半期	10.64	10.19

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	33,899	19,108	55.4
2026年６月期	34,712	19,129	54.1

(参考) 自己資本 2027年６月期第１四半期　18,776百万円　2026年６月期　18,792百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	―	0.00	―	25.00	25.00
2027年６月期	―				
2027年６月期(予想)		0.00	―	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	10.3	2,700	△16.3	3,100	△13.5	2,100	△13.4	73.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：無
　　新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
　②　①以外の会計方針の変更　　：無
　③　会計上の見積りの変更　　：無
　④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	30,317,388株	2026年６月期	30,317,388株
②　期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	1,800,273株	2026年６月期	1,811,673株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	28,516,992株	2026年６月期１Ｑ	28,357,934株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料４ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……11
（継続企業の前提に関する注記） ……11
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループの事業領域においては、各国が経済安全保障の観点から重要鉱物を戦略的に位置づけ、安定的な供給網の構築に向けた取り組みが加速するなど、資源循環の重要性が引き続き高まっております。一方で、地政学リスクの長期化や各国の金融政策を巡る動きなどを背景に、資源市況は品目ごとに明暗が分かれ、全体としては先行き不透明な状況が続きました。

各市況につきましては、鉄スクラップ価格（東京製鐵田原海上特級価格）は中国からの安価な半製品輸出による圧迫が続く中、日米の金融政策等による円高や電炉メーカーの定期修繕等に伴う需給緩和により、期中は下落傾向で推移しました。ただし、前連結会計年度に上昇した水準からの下落であったため、当第１四半期連結累計期間の鉄スクラップ平均価格は51,451円/tと、前年同期の40,511円/tを上回りました。非鉄金属・貴金属相場につきましては、前連結会計年度において、投機的資金の流入に加え、世界的な供給懸念が顕在化し、銅や金・銀などの価格が史上最高値を更新し、当第１四半期連結累計期間においても、引き続き高値圏で堅調に推移しました。一方、リチウムイオン電池の主原料であるコバルト、ニッケル及びリチウムの平均価格は、供給制約等の緩和により下落傾向で推移しました。

このような環境下において、当社グループは、強みである独自の選別技術をさらに深化させ、社会的に不可欠な資源や高付加価値品の回収・販売を強化しました。また、これまで取り組んできた構造改革の成果が着実に表れたことで、収益性が改善しました。あわせて、将来の成長に向けた準備も進めてまいりました。

以上の結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高は11,265百万円(前年同期比12.8%増)、営業利益は827百万円(前年同期比96.0%増)、経常利益は994百万円(前年同期比125.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は697百万円(前年同期比131.3%増)となりました。

当社グループは、これまで掲げてきた「サーキュラーエコノミー（ＣＥ）をリードする」という戦略コンセプトのもと、これから先10年を見据えて、持続的な成長に向けた新たな長期ビジョン「En-Vision2035」を策定しました。本ビジョンでは「ＣＥ総合プラットフォーム企業になる」ことを目指し、「つなぐ、つくる、ささえる」を一気通貫で担うことでグリーンマテリアルの価値最大化を図るとともに、資源循環に関わる企業や地域をつなぐ役割を果たしてまいります。当社グループ独自の破砕・選別技術を源泉として、ＣＥの具体的な事業化やその実行を支える事業基盤を整備し、資源価格の変動に左右されにくい強靭な事業体質の確立を目指してまいります。

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

セグメント別業績の概要

≪売上高≫　（単位：百万円）

	前第１四半期 連結累計期間	当第１四半期 連結累計期間	増減比
資源循環事業	4,926	6,778	37.6%
グローバルトレーディング事業	5,482	4,960	△9.5%
リチウムイオン電池リサイクル事業	630	871	38.2%
その他	161	144	△10.3%
調整額	△1,210	△1,490	―
合　計	9,991	11,265	12.8%

≪セグメント利益≫　（単位：百万円）

	前第１四半期 連結累計期間	当第１四半期 連結累計期間	増減比
資源循環事業	259	739	184.8%
グローバルトレーディング事業	115	183	58.5%
リチウムイオン電池リサイクル事業	151	166	10.4%
その他	59	28	△51.3%
調整額	△144	△124	―
合　計	440	994	125.6%

(注)セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

① 資源循環事業

資源循環の重要性の高まりが継続する中、主要金属価格が堅調に推移したことに加え、当社グループが強みとする独自の選別技術をさらに深化させ、高付加価値品の回収・販売を強化したことが収益性を押し上げました。また、スポット案件を獲得したこと等により、取扱量も増加しました。

一方、ゴム関連事業においては、組織再編等の構造改革の成果が着実に表れ、取引条件の適正化が進んだものの、前年同期におけるスポット案件の反動減により減益となりました。

以上の結果、資源循環事業の売上高は6,778百万円（前年同期比37.6%増）、セグメント利益は739百万円（前年同期比184.8%増）となりました。

②グローバルトレーディング事業

物流代行サービスにおいては、ホルムズ海峡の緊迫化に伴うフレート高騰が続く中、航路変更への対応や需給バランスに応じた適正価格でのサービス提供に努めましたが、減収減益となりました。金属原料のトレーディング事業では、需給緩和や長引く悪天候の影響等により取扱量が伸び悩み、減収となりました。しかしながら、構造改革の成果が表れる中、新たな販路及び商材の開拓と利幅（スプレッド）の改善により収益性は大きく向上し、減収増益となりました。

以上の結果、グローバルトレーディング事業の売上高は4,960百万円（前年同期比9.5%減）、セグメント利益は183百万円（前年同期比58.5%増）となりました。

③リチウムイオン電池リサイクル事業

前連結会計年度に発生した加工委託先の罹災に伴い、生産能力が制限されたことで取扱量は減少となりました。また、電池材料に用いられるコバルト、ニッケル及びリチウム相場は、供給制約等の緩和により下落傾向で推移しました。ただし、前連結会計年度に上昇した水準からの下落であったため、増収増益となりました。

生産能力の制限解消に向けては、現在、罹災先との調整、代替委託先の活用ならびに自社増産等の対応を進めております。

今後も国内シェア拡大を目指すとともに、将来の成長に向けた設備投資を積極的に推進してまいります。

以上の結果、リチウムイオン電池リサイクル事業の売上高は871百万円（前年同期比38.2%増）、セグメント利益は166百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

④その他

障がい福祉サービス事業における登録利用者の減少や、サステナビリティコンサルティング事業における受注の減少等により、その他事業全体として減収減益となりました。

以上の結果、その他事業の売上高は144百万円（前年同期比10.3%減）、セグメント利益は28百万円（前年同期比51.3%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当第１四半期連結会計期間末における総資産は33,899百万円（前連結会計年度末比812百万円の減少、2.3%減）となりました。流動資産は17,598百万円（前連結会計年度末比1,467百万円の減少、7.7%減）となりました。これは、商品及び製品が492百万円増加したものの、現金及び預金が1,235百万円、受取手形及び売掛金が473百万円減少したこと等によります。固定資産は16,301百万円（前連結会計年度末比654百万円の増加、4.2%増）となりました。これは、建設仮勘定が360百万円、機械装置及び運搬具が163百万円、投資有価証券が149百万円増加したこと等によります。

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は14,790百万円（前連結会計年度末比791百万円の減少、5.1%減）となりました。流動負債は10,295百万円（前連結会計年度末比566百万円の減少、5.2%減）となりました。これは、短期借入金が400百万円、賞与引当金が188百万円増加したものの、未払法人税等が564百万円、その他流動負債が441百万円減少したこと等によります。固定負債は4,495百万円（前連結会計年度末比225百万円の減少、4.8%減）となりました。これは、長期借入金が216百万円減少したこと等によります。

当第１四半期連結会計期間末における純資産は19,108百万円（前連結会計年度末比20百万円の減少、0.1%減）となりました。これは、利益剰余金が15百万円減少したこと等によります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年８月13日付の決算短信で公表いたしました2027年６月期の連結業績予想に変更はございません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,497,517	6,262,374
受取手形及び売掛金	5,187,913	4,714,310
商品及び製品	4,532,134	5,024,464
仕掛品	94,554	132,308
原材料及び貯蔵品	712,647	824,614
その他	1,061,451	652,505
貸倒引当金	△20,704	△12,064
流動資産合計	19,065,515	17,598,512
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,815,946	8,874,744
減価償却累計額	△5,797,393	△5,861,831
建物及び構築物（純額）	3,018,552	3,012,912
機械装置及び運搬具	17,171,255	17,550,191
減価償却累計額	△13,858,562	△14,074,009
機械装置及び運搬具（純額）	3,312,692	3,476,181
土地	3,840,534	3,840,534
建設仮勘定	429,265	789,302
その他	987,499	991,062
減価償却累計額	△814,900	△824,901
その他（純額）	172,599	166,160
有形固定資産合計	10,773,644	11,285,092
無形固定資産		
のれん	17,106	16,304
その他	179,455	172,732
無形固定資産合計	196,562	189,037
投資その他の資産		
投資有価証券	4,072,191	4,221,630
出資金	9,320	9,320
繰延税金資産	497,829	500,028
その他	155,488	153,764
貸倒引当金	△57,981	△57,642
投資その他の資産合計	4,676,849	4,827,101
固定資産合計	15,647,056	16,301,230
資産合計	34,712,571	33,899,743

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,548,165	4,439,815
短期借入金	2,430,000	2,830,000
1年内返済予定の長期借入金	1,056,266	1,025,496
リース債務	82,311	72,459
未払法人税等	906,259	342,172
賞与引当金	125,565	313,684
その他	1,713,224	1,271,678
流動負債合計	10,861,792	10,295,305
固定負債		
長期借入金	3,067,712	2,851,532
リース債務	131,400	119,503
再評価に係る繰延税金負債	58,791	58,791
退職給付に係る負債	1,134,514	1,136,930
資産除去債務	205,616	205,799
その他	122,885	122,884
固定負債合計	4,720,919	4,495,441
負債合計	15,582,712	14,790,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,580,215	1,580,215
資本剰余金	1,997,298	1,993,873
利益剰余金	15,998,976	15,983,945
自己株式	△871,032	△864,460
株主資本合計	18,705,458	18,693,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,619	△6,890
土地再評価差額金	13,829	13,829
為替換算調整勘定	81,138	76,165
その他の包括利益累計額合計	87,348	83,103
新株予約権	286,415	283,280
非支配株主持分	50,637	49,037
純資産合計	19,129,859	19,108,996
負債純資産合計	34,712,571	33,899,743

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
売上高	9,991,037	11,265,004
売上原価	8,023,221	8,820,356
売上総利益	1,967,815	2,444,647
販売費及び一般管理費	1,545,768	1,617,548
営業利益	422,046	827,099
営業外収益		
受取利息	5,639	9,763
持分法による投資利益	61,109	148,296
為替差益	－	14,464
受取賃貸料	9,261	10,456
その他	16,057	16,617
営業外収益合計	92,068	199,599
営業外費用		
支払利息	12,503	16,213
為替差損	40,841	－
減価償却費	8,861	13,779
その他	11,283	2,591
営業外費用合計	73,490	32,584
経常利益	440,624	994,114
特別利益		
固定資産売却益	2,386	1,199
特別利益合計	2,386	1,199
特別損失		
固定資産除却損	0	755
特別損失合計	0	755
税金等調整前四半期純利益	443,010	994,558
法人税等	142,631	297,095
四半期純利益	300,379	697,462
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1,232	△149
親会社株主に帰属する四半期純利益	301,612	697,612

四半期連結包括利益計算書

第１四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 2025年７月１日 至 2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 2026年７月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	300,379	697,462
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,386	729
為替換算調整勘定	4,506	△4,973
その他の包括利益合計	14,893	△4,244
四半期包括利益	315,272	693,218
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	316,505	693,368
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,232	△149

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び連結子会社の税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自　2025年７月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	資源循環	グローバルトレーディング	リチウムイオン電池リサイクル	計				
売上高								
鉄	531,047	3,129,231	－	3,660,279	－	3,660,279	－	3,660,279
非鉄金属	1,007,933	1,195,486	－	2,203,420	－	2,203,420	－	2,203,420
ゴム製品	1,438,075	30,985	－	1,469,060	－	1,469,060	－	1,469,060
物流代行	－	888,664	－	888,664	－	888,664	－	888,664
LIB関連	－	－	417,559	417,559	－	417,559	－	417,559
その他	1,021,037	175,436	－	1,196,474	155,578	1,352,052	－	1,352,052
顧客との契約から生じる収益	3,998,094	5,419,804	417,559	9,835,458	155,578	9,991,037	－	9,991,037
外部顧客への売上高	3,998,094	5,419,804	417,559	9,835,458	155,578	9,991,037	－	9,991,037
セグメント間の内部売上高又は振替高	928,251	63,189	213,103	1,204,544	5,959	1,210,503	△1,210,503	－
計	4,926,345	5,482,994	630,662	11,040,002	161,537	11,201,540	△1,210,503	9,991,037
セグメント利益	259,620	115,746	151,060	526,426	59,095	585,522	△144,898	440,624

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サステナビリティコンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

２．調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△144,898千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

Ⅱ．当第１四半期連結累計期間（自　2026年７月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	資源循環	グローバルトレーディング	リチウムイオン電池リサイクル	計				
売上高								
鉄	998,007	2,618,689	－	3,616,697	－	3,616,697	－	3,616,697
非鉄金属	2,089,040	1,002,324	－	3,091,365	－	3,091,365	－	3,091,365
ゴム製品	1,533,336	122,728	－	1,656,065	－	1,656,065	－	1,656,065
物流代行	－	812,079	－	812,079	－	812,079	－	812,079
LIB関連	－	－	532,427	532,427	－	532,427	－	532,427
その他	1,154,521	262,967	－	1,417,489	138,880	1,556,370	－	1,556,370
顧客との契約から生じる収益	5,774,906	4,818,789	532,427	11,126,123	138,880	11,265,004	－	11,265,004
外部顧客への売上高	5,774,906	4,818,789	532,427	11,126,123	138,880	11,265,004	－	11,265,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,003,889	142,067	338,956	1,484,913	6,069	1,490,983	△1,490,983	－
計	6,778,796	4,960,856	871,383	12,611,036	144,950	12,755,987	△1,490,983	11,265,004
セグメント利益	739,369	183,453	166,759	1,089,581	28,803	1,118,384	△124,270	994,114

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サステナビリティコンサルティング事業、障がい福祉サービス事業を含んでおります。

２．調整額の内容は以下のとおりであります。
セグメント利益の調整額△124,270千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第１四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	343,036千円	353,109千円
のれんの償却額	801 〃	801 〃